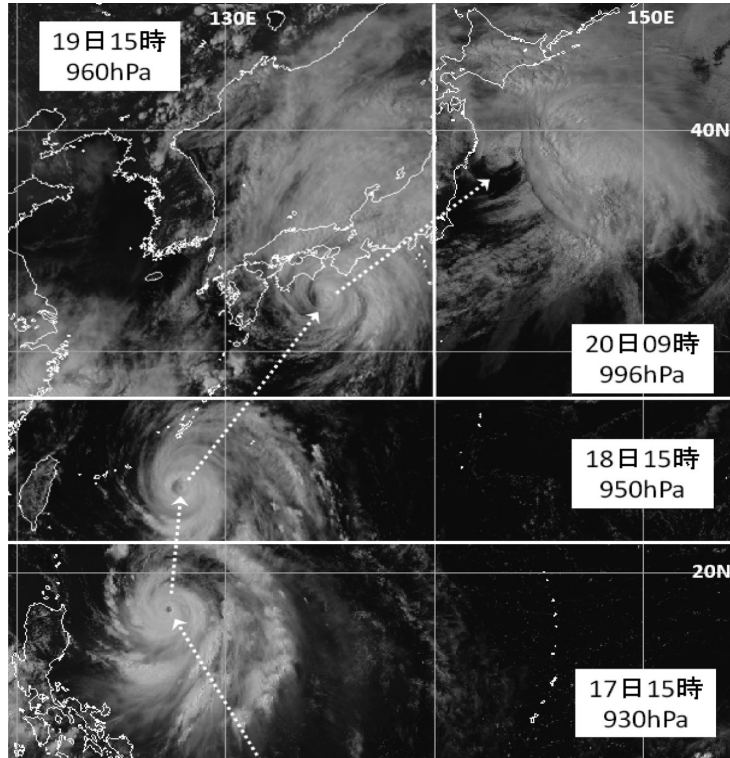


今月のひまわり画像—2012年6月

6月に最も低い気圧で上陸した台風第4号



第1図 2012年6月17～20日の衛星可視画像（太い白線は画像の境界線，点線の矢印は台風第4号の経路で，日時と台風第4号の中心気圧を図中に記載した）。

2012年6月19日17時過ぎ（日本時間）に台風第4号が和歌山県南部に上陸した。6月に日本へ上陸した台風としては2004年以来8年ぶりで、1951年からの統計で7番目の早さであった。第1図は6月17日15時～20日09時にかけての台風第4号の軌跡を合成した可視画像である。左上に示した19日15時は、上陸直前の画像で、台風を中心付近の雲域は明瞭な渦巻き状を呈しているが、2日前（17日15時）の最盛期の画像で確認できたくっきりとした眼は既に不明瞭となっている。

一般に、台風は本州付近に接近する頃には、偏西風等の影響により、雲域の対称性が崩れ始めていることが多く、第4号も中心の西～南象限で雲域が疎らになりつつあった。しかし中心の北側では前線に伴う雲域を含めて雨雲が広範囲に拡がっており、東側の雲域は

活発な対流活動を維持していた。第4号は、本州に接近するまで地形の影響をあまり受けず、黒潮近傍の海面水温が比較的高い領域を北上したこともあり、強い勢力のまま速度を上げながら紀伊半島に上陸した。上陸時の中心気圧は960hPaで、同統計期間、6月の上陸台風としては最も低い中心気圧となった。台風は、20時過ぎに愛知県東部に再上陸し、その後、関東甲信地方を東北東へ進み、翌日（20日）09時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。台風第4号の通過により、静岡県御前崎では20時43分に最大瞬間風速41.4 m/sを記録した。三重県大台町宮川では日降水量405.5mmを観測する等、各地で大雨による浸水や土砂崩れ等の被害が発生した。

（気象庁予報部予報課 河野麻由可）